



尼崎市教職員組合：尼崎市西長洲町2-34-1
執行委員長 中川 純一
TEL 06-6481-1133 FAX 06-6481-9520
ホームページ http://amakyoso.wix.com/amakyoso
E-mail amakyoso@s5.dion.ne.jp

相談・質問は、
尼教組へ
*LINEで
連絡してく
ださい。

2学期始業8/25から29へ でも、授業時数を上乘せしないで！

尼崎市教育委員会は、1月22日の定例会で「管理運営規則」の一部変更を行い、2学期の始業開始を現行8月25日から29日へと変更しました。夏の猛暑もありますが、背景には中学校の卒業式を公立高校入試の後に変更することがあります。

市教委は中3生の授業時数が標準ギリギリで、指導要領の改訂とエアコン設置を理由に夏休みの1週間短縮を2017年から実施しました。(小学校は2018年から)

2016年当時、尼教組は「夏休みを短縮するな」と市教委へ申し入れを行い、市教委は「通常の時期にゆとりをもたせるため」と回答していました。

この数年阪神間で、中学校の卒業式を公立高校入試後に変更する動きが進みました。市内でもPTA連合会の要望もあり、尼崎市も卒業式の日程変更を避けられない状況になっています。尼教組からは卒業式変更の際には、夏休みの短縮をやめるよう市教委に伝えてきました。

尼教組は今回の変更で、減った授業時数を他に回すことがないように市教委に要請しました。(文面はウラ面に)

授業時数は足りています。(教員は足りていません。)今でさえ、ゆとりのない多忙な毎日です。今以上、教職員にも子どもにも余裕のない学校生活を過ごすことを受け入れられますか。

学校では、次年度の計画準備が始まっています。ゆとりを持って、過ごせるよう、職場でも話し合っていきましょう。

2016年 尼教組から市教委への申し入れから(抜粋)
(夏休みの短縮について)ゆっくり休み気晴らしすること、楽しくたっぷり遊ぶこと、素晴らしい文化や芸術にふれること、みんな大切な子どもの権利です(子どもの権利条約31条)。夏休みこそ絶好の機会です。尼崎の子どもたちにその権利が十分保障されているとは言えませんが、充実した豊かな夏休みを子どもたちにどう保障してやるかを検討することが優先されるべきです。
夏休みは、教職員にとって研修(研究と修養)・リフレッシュの大切な時期です。日頃忙しくてできない学習や経験、家族との時間を、少しはゆっくりとることができる期間です。会議・研修、部活動、プール指導、免許更新講習などでその期間は、年々短くなっています。夏休みの1週間短縮でさらに短くなることが予想されます。



要求が市の政策に反映しました

尼崎市の来年度予算案に、尼教組からの要求が反映しています。

学校の現状を、市教委や市長に伝えてきた成果です。(ウラ面にも続く)

スクールソーシャルワーカーの体制強化 -千円
(心の教育相談事業 R6事業費 7,332千円) 所属:教育委員会事務局
[非常勤行政事務員3人増員] ともども教育支援課

弁護士の法的支援。

3年かけてですが、1中学校区に1人。

スクールロイヤーの設置 -千円
(R6事業費 -千円) 所属:教育委員会事務局
[特別職非常勤職員2人増員] いじめ防止生徒指導担当

いわゆる「不登校特例校」 成良中学校 琴城分校跡地に2026年4月開校予定

学びの多様化学校の設置に向けた検討 1,000千円
(学びの多様化学校設置準備事業 R6事業費 1,000千円) 所属:教育委員会事務局
[正規職員3人増員] ともども教育支援課
中学生40人 中学校2校に設置。

エレベーターの設置 11,268千円
(中学校バリアフリー化推進事業 R6事業費 11,268千円) 所属:教育委員会事務局
特別支援教育担当

電子図書館を活用した読書推進事業 500千円
(読書力向上事業 R6事業費 3,730千円) 所属:教育委員会事務局
中央図書館
小学校とあまよう特支。

2学期開始日変更に関わっての要望

貴職におかれましては、日頃、尼崎の教育発展のためご尽力頂いていますことに敬意を表します。

去る1月22日の教育委員会定例会にて、市内学校園管理運営規則の見直しがなされ、市内小中学校の2学期始業が、8月25日から29日に変更されました。これは、阪神間の他市と同様の日程にそろえたものです。

2学期開始を8月25日と変更を決定した2016年(平成29年)10月の教育委員会定例会にて、市教委は、エアコン設置を前提に「児童生徒のさらなる学力向上を図るため、長期休業日を変更して年間授業日数を増やし、弾力的な教育課程の編成、基礎学力の定着や活用型学習の推進、新たな教育課題への対応など豊かな教育活動を展開できる」と述べ、「弾力的な教育課程の編成」を期待していました。尼教組の申し入れに対しても「授業日数を増やすのは、日頃の授業日にゆとりをもたせるため」と回答していました。令和5年9月の文科省通知でも「大幅な授業時数の編成は必要ない」と明言しています。

今回の日程変更に伴って、今以上にゆとりをなくすことがないように各学校に指導をお願いするものです。毎日6時間授業、短縮日を減らすというような、授業時数が減った分を他に上乗せし、子どもにも教師にもゆとりのない学校生活にならないようにする必要があります。学校現場は、教員不足により通常以上の労働を強いられています。不登校生や支援を要する児童生徒も増えています。今以上に、学校現場を疲弊させることがないように申し入れます。

尼崎市教育委員会は、下記の申し入れ事項について誠意あるご回答をされるようお願いいたします。

1. 2学期始業日の変更後も、授業時数を上乗せせず、ゆとりある学校運営がなされるよう指導すること。

(オモテ面からの続き)

パソコンがテストの採点

デジタル採点システムの導入 6,025千円
 (デジタル採点システム活用事業、
 教育ICT環境整備事業 R6事業費 389,467千円)
 所属:教育委員会事務局
 学び支援課
 高校教育課
 学校ICT推進課

教職員が、解答用紙をスキャンしてパソコンに取り込み、採点し、自動集計された採点結果を確認する。加えて、システムの分析機能を活用して、生徒一人ひとりの学習上のつまずきを把握することで、それぞれの習熟度にあった課題を出題し、指導を行うなど、教員の授業改善につなげる。



テスト回収



解答をスキャン



デジタル採点システムで効率化!!



テスト



テスト返却



テスト分析
⇒個に応じた指導・学習



尼崎歴史探検(AMATAN)事業 8,683千円
 (R6事業費 8,683千円)

所属:教育委員会事務局
 学校教育課

【事業内容】尼崎城と歴史博物館を見学し、尼崎市の歴史等を学ぶ。
 対象:市立小学校3~6年生のいずれか各校1学年(1回)
 詳細:尼崎城と歴史博物館を見学するためにバスを借り上げる。

バスで市内の歴史的公共施設を見学!



尼崎城



歴史博物館



尼崎市立歴史博物館

地域への関心を高め、主体的に
 地域と関わる態度の育成につなげる。



尼崎の歴史がたくさんわかったよ。
 尼崎ってすごいね。

*他にも、フリースクール利用者の費用補助、放課後日本語ボランティアの派遣など。